

## 慢性腎臓病患者における便秘薬の使用実態調査

この研究は、今までの診療記録と検査データ等に基づいて行われます。また、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、倫理委員会の承認の上で実施されます。これまでの診療で行われた診療記録、検査データ等を利用するため、この研究のために患者さんに新たにご負担をいただくことは一切ありません。

### 1. 研究目的

昨今、腎臓と腸との密接な関係を示す「腸腎連関」が注目され、腸内環境の是正によって慢性腎臓病（CKD）が改善される可能性が示唆されています。腸内環境に影響を与えている因子は数多く存在しますが、我々は特に「便秘」に注目し、腸内細菌叢の改善に繋がる便秘への治療介入が腎機能悪化に対する治療の選択肢の一つになると考えています。

今回の調査では、CKD stage 別の「便秘薬の使用状況」や「血液検査の頻度」等を調べることで、より適切な薬学的関与に寄与することを目的としています。

### 2. 研究方法

対象となる方：2022年1月～2022年12月の期間に、日本赤十字社和歌山医療センター  
外来診察を受けた患者のうち、1種類以上の便秘薬が処方された患者

研究デザイン：後方視的観察研究

使用する情報：カルテ(診療録)、検査データ等

### 3. その他

研究結果は個人が特定できない形式で、学会発表等の手段によって公開する予定です。個人情報取り扱いに関しては、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理し、個人が特定されないように行います。本研究に参加することによる患者さんの利益・不利益はともにありません。この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録(カルテ)は除外してほしい」と望まれる方は下記の連絡先までご連絡ください。

臨床研究を通じて、今後より多くの患者さんが、最適な薬物療法を受けられることが期待できると考えております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

[連絡先]

日本赤十字社和歌山医療センター 薬剤部

研究責任者 榎本 亜澄香

〒640-8558 和歌山県和歌山市小松原通四丁目20番地

TEL：073-422-4171(代表)